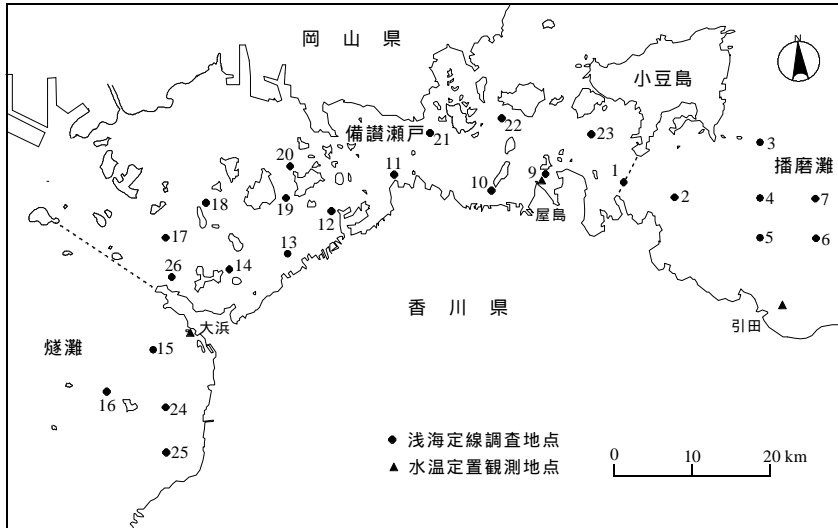


香川県漁海況速報 平成17年 7月 (H17- 4号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 17 年 7 月 6 日 (播磨灘), 5 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みから著しく高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「かなり低めからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	22.6	21.9	19.1	31.8	32.1	32.2	8.1	4.59	3.95
	平年値	22.1	20.6	18.8	31.6	31.8	32.1	7.7	5.26	3.73
	平年偏差	0.5	1.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.4	-0.67	0.22
	状況	平年並み	著しく高め	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	かなり低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	22.6	22.0	21.7	31.8	32.0	32.1	4.4	4.23	4.04
	平年値	21.3	20.8	20.6	31.5	31.8	31.9	4.2	4.71	4.46
	平年偏差	1.3	1.2	1.2	0.3	0.2	0.2	0.2	-0.48	-0.42
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め
燧灘	4地点平均値	24.5	22.3	18.5	31.4	32.5	32.7	6.3	5.10	4.18
	平年値	23.9	20.2	18.2	31.4	32.4	32.7	9.1	5.28	3.73
	平年偏差	0.6	2.2	0.3	-0.1	0.1	0.1	-2.8	-0.18	0.45
	状況	平年並み	著しく高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

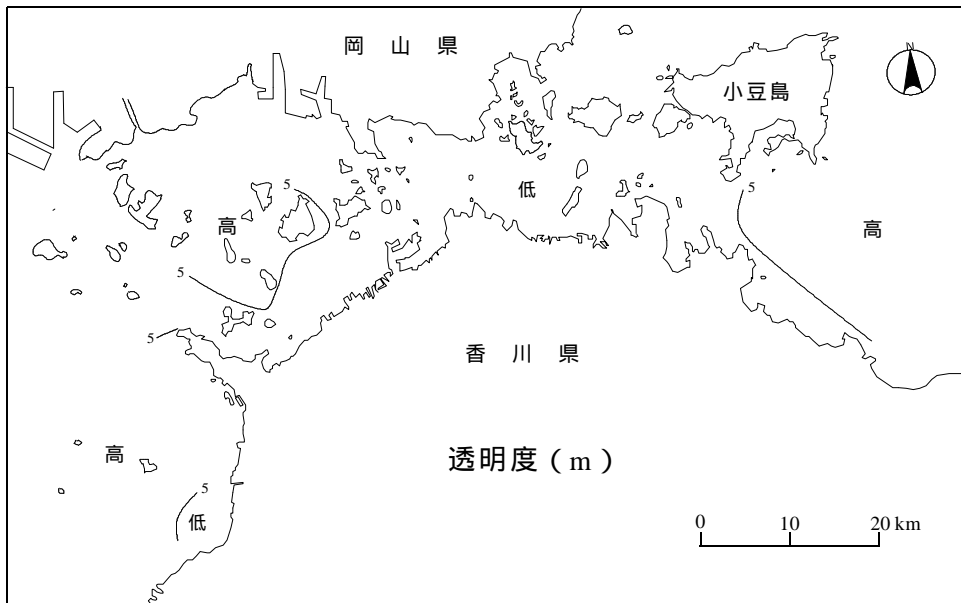
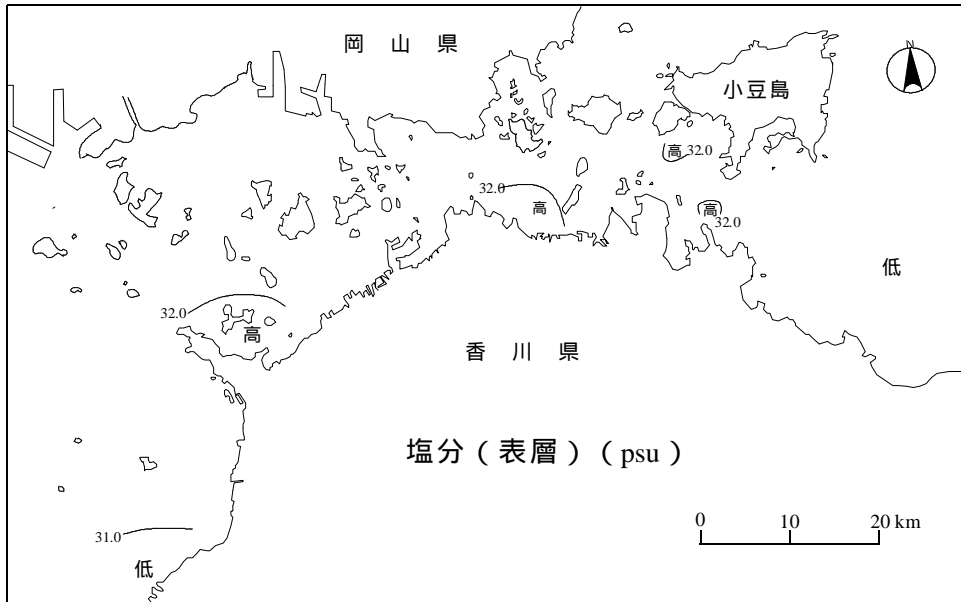
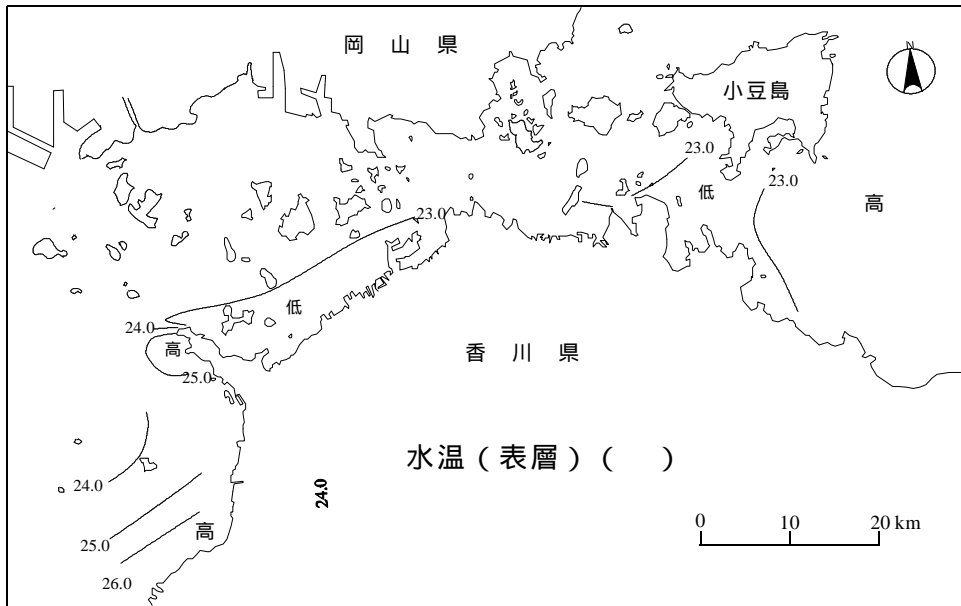
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 48 年 (1973) 1 月 ~ 平成 13 年 (2002) 12 月

溶存酸素: 昭和 48 年 (1973) 2 月 ~ 平成 13 年 (2002) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



2) 定置観測(水温)

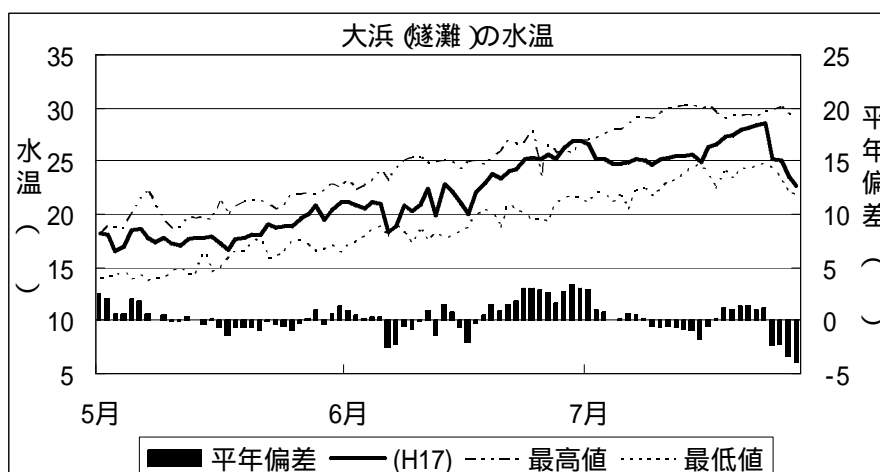
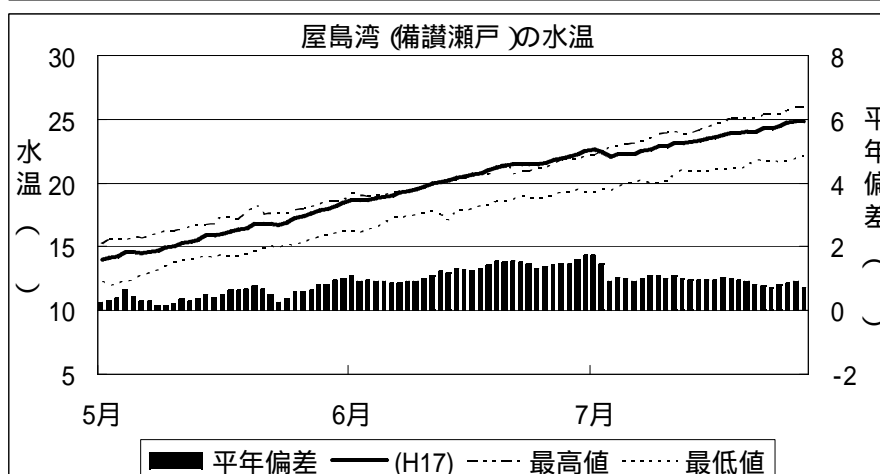
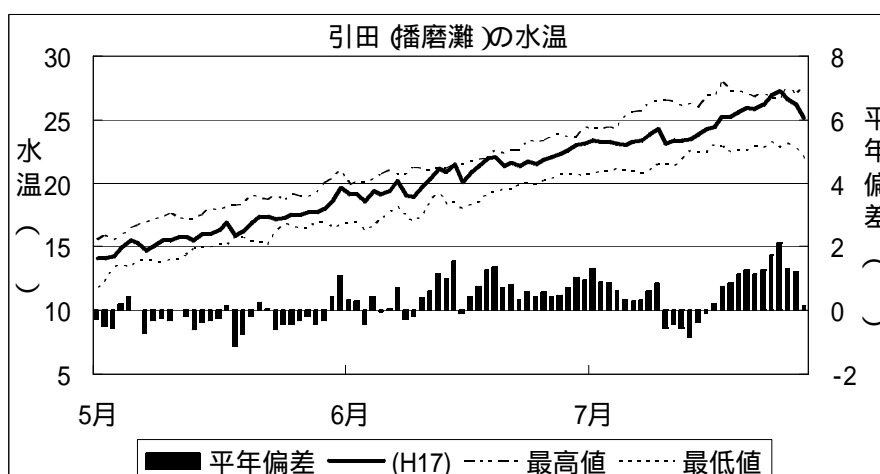
播磨灘(引田): 6月上旬, 平年値前後かやや高く, 中旬から7月上旬まで平年偏差が1 前後で推移した。中旬に一時 - 0.5 前後に低下し, その後2 まで上昇した後, 台風7号等の影響で低下している。

備讃瀬戸(屋島): 6月は平年偏差が1 ~ 1.8 の間で推移した。7月に入りやや小さくなり1 前後で推移している。

燧灘(大浜): 6月初めは平年値より高く推移し, その後大きく低下した後, 平年値前後で大きく変動し, 中旬から大きくなり平年偏差が3 前後で推移した。7月に入り平年値前後から平年値を下回り, 中旬には平年偏差が1 前後で推移した後, 台風7号等の影響で低下している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989) ~ 平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975) ~ 平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：7月上旬，南西部で，*Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成17年7月6日（播磨灘），5日（備讃瀬戸，燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	1.30	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.80	1.90
備讃瀬戸平均	1.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	11.90	3.90
燧灘平均	27.90	9.30	0.00	0.00	0.00	0.00	13.40	6.90
総平均	7.33	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00	9.53	4.03

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	2.9%	1.6%	-	-
備讃瀬戸平均	31.8%	46.9%	-	-
燧灘平均	206.2%	384.3%	-	-
総平均	44.1%	91.7%	-	-

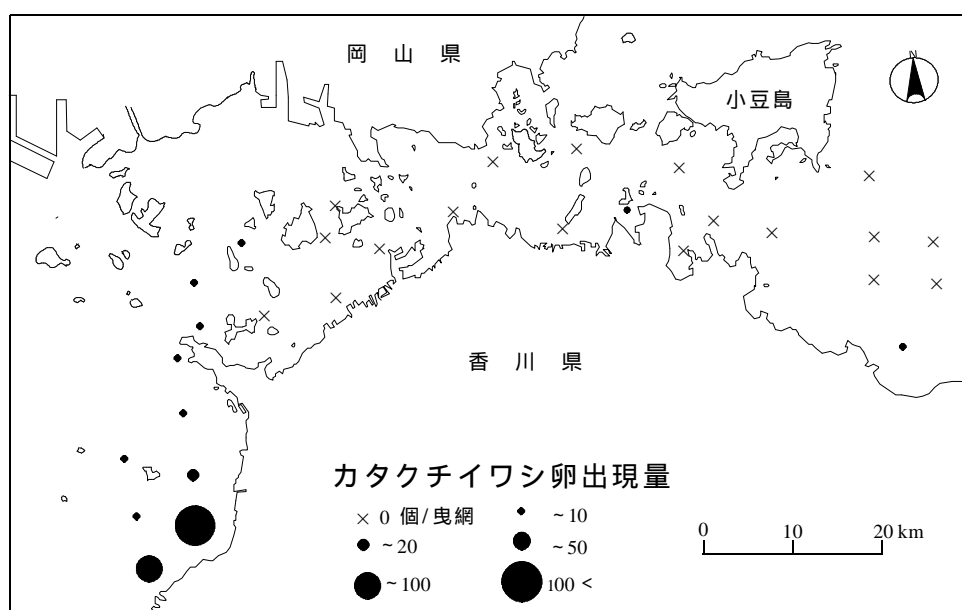
- : 平年値が 0 の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和 55（1980）～平成 16（2004）年度

マイワシ：平成 5（1993）～平成 16（2004）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は，次のとおりである。



2. 漁況

6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網は小エビ類，ウシノシタ類，ガザミ等が漁獲されているが，全般的に低調である。</p> <p>ます網では主にスルメイカが漁獲されているが，マアジ(小)等が少なく，全般的に低調である。</p> <p>大型定置網では主にマルアジ，スルメイカ，タチウオを中心に漁獲されている。</p> <p>東讃のシラスの船びき網の6月の漁獲量は177トンで不漁であった前年を上回ったものの，平年(1989-2003年)の62%と低調であった。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，小エビ類，コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>マナガツオ流し刺網は前年同様低調な漁獲である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主に小エビ類，アカカマス，オニオコゼ，ガザミ，コチ類，トリガイを漁獲している。</p> <p>イワシ機船船びき網の6月の漁獲量は254トンで前年の約半分であった。これは，大羽の漁獲が前年の30%と少なかったためである。7月に入ってからチリメン漁は好調を維持している。</p>